

事業改善会議用シート

対象事業	一般廃棄物処理事業（家庭ごみ）	
<p>適正な受益者負担という 視点からの評価又は課題</p>	<p>○ 現在、一般廃棄物処理事業（家庭ごみ）は受益者負担なし（無料）</p> <p>○ 受益者負担を求めずに税等の一般財源によって実施の一般廃棄物処理事業は、排出量の多い住民と少ない住民との間において負担の公平化が図られていない状況にあること。</p>	
<p>仕分け区分（方向性を○囲み）</p>	<p>委員の具体的なご意見等</p>	
<p>① 現状維持 （有料化すべきでない）</p>	<p>1名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当面は現状維持。ただし、有料化すべきではないということではない ・ 有料化の検討は必要である ・ 家庭ごみの弁別の徹底、各家庭の意識を高めることが必要である ・ ごみ処理の情報について、繰り返し市民に提供すべき
<p>② 有料化の検討は必要</p>	<p>5名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各家庭のごみの量を減らす取り組みをすべき ・ ごみのリサイクルについてアピールをすべき、その後有料化 ・ 適正な住民負担は必要、住民の意識改革も必要 ・ 生ごみのたい肥化を強く推進すべきである ・ 受益者負担でごみの減少を図るべき
<p>③ 将来的には有料化が必要</p>	<p>3名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化は排出量の抑制の意識につながるので、必要 ・ ごみの排出は自己責任であるので、近い将来実施すべき ・ 市の財政負担が大きくなるため、将来的には有料化が必要 ・